

各地の話題

石巻市



2019年8月2日号掲載

おいしいお茶をどうぞ ～北の茶処^{ものうちょう}桃生町から～

石巻市桃生町鹿島の佐々木浩^{こう}さん（55歳）は現在、1.5haの畑に煎茶のやぶきた種をはじめ、5～6種類の茶を栽培している。生葉でおよそ5000kgを収穫し、自ら製茶して道の駅、観光物産館などの直売所3か所・茶舗2か所に出荷している。



伊達政宗公が茶葉の生産を奨励したのが桃生茶の始まり。茶畑の下は雄大な北上川が貫流することから川霧が発生するため、茶栽培に適した環境だそうだ。立春から数えて108日目に摘み取ることから^{ひやくやちや}百八茶と呼ばれている。

このお茶は香りが高く、苦みや渋みの少ないまろやかな味わいでとても飲みやすい。佐々木さんは「どこのお茶でもお茶はお茶。飲んだ時に『ああホッとする。おいしいな』それでいいんです。特別ではなく、日常の生活の中で喜んでもらいたい」と語っていた。

【記事提供：石巻市農業委員会】